発行　京都市保育園保護者会連合協議会
604-8854　京都府京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラボール京都（京都労働者総合会館）５階
TEL.075-801-8810 / FAX.075-822-6220
E-mail: info@shihoren.net
https://kyotoshihoren.wixsite.com/my-site
京都市保育園保護者会連合協議会

京都市保育園保護者会連合協議会
市保連ニュース
2023年 8月号

2023 年度市保連総会と学習会を開催しました

2023 年 7 月 9 日（日）午前 10 時より、京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）の 2023 年度総会を開催しました。今年度も会場参加とオンライン参加のハイブリッド方式で実施し、2022 年度活動報告案・決算報告案と、2023 年度の活動方針案・予算案、役員・事務局体制案について審議・承認をいただきました。

また、当日は総会に先立って、地域経済学の専門家で、京都市内で子育て中の保護者でもある小山大介さん（京都橘大学准教授）を講師にお迎えしてのミニ学習会や、参加者の交流会も実施しました。

総会 ミニ学習会　私たちの社会と保育の関係 ～地域社会と保育～

市保連のミニ学習会では、「私たちの社会と保育との関係（地域社会と保育）」というテーマでお話をいたしました。子育ては、本当に楽しいものであり、人生の大きな励み、そして家族の絆、そのものです。しかし、子育てを続けるなかで、ふと思う不安、社会との壁に突き当たることが、しばしばあります。職場、地域、公共交通機関などでは、子育てに関する理解が十分進んでいないと感じることがあります。

子育ては、決して１人ではできません。家族、両親、職場、行政、社会の理解や支援が必要不可欠です。ですが、京都市における「子育て支援」をめぐる状況は、ますます厳しくなっています。

「0 歳から 2 歳児」の保育料は、所得スライド制であり、決して安価なものではありません。また、2022 年度から民間保育所への人件費補助金が 13 億円カットされており、2023 年度も現状維持となっています。保育士さんの給与は、物価上昇のなかでカットされています。保育士さんの待遇が悪化するなかで、人材確保が進まず、私たちの生活の基盤となる社会インフラ（保育所）の持続的な運営が難しくなっています。

今こそ「こどもは地域社会で育てる」との考え方が必要となっています。現役世代に負担を強いるだけでなく、地域社会、職場、行政が理解し、協働し、共感することによって、子育て環境は劇的に改善していくのはないでしょうか。そのようななか、本格的な子育て支援に乗り出す自治体が増加しています。保育料の完全無料化を実現した宮崎県都城市、子育て支援施設の充実化を進める香川県丸亀市は、ほんの一例です。子どもの医療費助成についても、自治体間での格差が広がっています。

保育所は、なくてはならない基本的な社会インフラです。親は子どもを保育所に安心して預けることで、集中して仕事に従事することができます。また、子どもにとっても重要な生活の「場」、人間形成の「場」になっています。

保育所は、「保育」というサービスを一方的に提供する機関ではありません。保護者、子ども、保育所そして行政による協働関係によって、より良くしていくものです。保護者、保育士さんが声をあげることで、現状は変えることができます。より良い子育て環境を目指して、行政への積極的な働きかけを続けていきましょう。

小山　大介（京都橘大学）


ミニ学習会の様子


交流会では綿菓子も大人気


楽しく交流しました

よろしくお願いします＆おつかれさまでした

～市保連役員・事務局員 就任・退任のご挨拶～

2023 年度総会において市保連役員・事務局の新体制が承認され、今年度より新たに池田智子さんが市保連会長に就任しました。また、お子さんの卒園をもって役員・事務局員を退任された方々もおられます。就任や退任にあたっての、皆さんの思いを語っていただきました。

繋がりの大切さ ～新会長就任のご挨拶～

今年度より市保連の新会長を務めさせていただきます、池田です。３人の子どもの子育て奮闘中の母です。

市保連では京都市で子育て中の、様々な保育園に通われている保護者の方々と繋がり合い、活動しています。

私自身、今まで市保連の活動で保護者の方々との繋がりを持てることで、何度も救われてきました。子育てで困った時など、簡単にネットで調べられ、情報が溢れている昨今ではありますが、同じ地域で子育て中の方々と生で繋がれることで、悩みを共有し合ったり親身になってアドバイスし合えたり、人の温かさを感じてきました。

“みんなで支え合って、みんなで子どもを育てていく”、そんなプラットホームとして、市保連の存在を身近に感じて頂けると嬉しいです。

初めての方でも、お気軽に交流会にご参加いただければ幸いです。

今と未来を生きる子ども達のためにも、保護者の立場として皆さんとお知恵とお力を合わせながら、活動に取り組んでいければと思います。

京都市保育園保護者会連合協議会
2023 年度会長　池田 智子

保護者の参画をこれからも ～副会長退任のご挨拶～

2010 年から 13 年間保育園にお世話になり、2023 年 3 月末をもって第三子が卒園をしたことでいよいよ副会長を退任することになりました。自園の保護者会長として活動するなかで市保連に出会い、保護者会活動や保育制度の改善のために取り組む他園の保護者の皆さんとのつながりを深めることができたことが市保連の活動を通じて得た一番の財産です。

コロナ禍を経て保護者会は岐路にありますが、保護者の参画は保育の質を向上させるために必要とされており、世界的な潮流でもあります。保護者同士がつながり、保育制度や保育園の運営にも意見を伝えていく保護者会の活動が今後広がっていくことを願っています。

京都市保育園保護者会連合協議会
2019-2022 年度副会長　藤井　豊

さよならのかわりに。 ～事務局長退任のご挨拶～

今年の３月、子どもが９年間お世話になった保育園を卒園しました。上の子は今、小学４年生、下の子は小学１年生です。

９年間、親子共々沢山の先生方、保護者の方々に助けられてきました。

親として何も分からないまま入園し、育児本やネットで子育てについて調べ、子育てをしてきました。辛い思い、しんどい思いをして、行事などの意味を考え、仕事と子育てに追われていました。自分の子どもと他の子を比べてしまい、自分の子ども、そして自分自身を心の中で責め続ける日々でした。

そんななか、保育園の保護者会役員になり、市保連とも出会い、子育ての悩みを話したり、数えきれない勉強会に参加したりすることで、子どもの育て方、しつけ方ではなく、子どもの育ちについて学ぶことや、保護者会の意義を知ることが出来ました。

保護者会に出会っていなければ、親子共々ずっとしんどい子育てが続いていたと思います。保育園生活で出会った全ての方々に「ありがとうございます」と伝えたいと思います。そして、これからも子ども達が１人でも笑顔になれるような保育制度の改善に向けて、微力ながら頑張っていきたいと思います。

皆さん、９年間どうもありがとうございました。

京都市保育園保護者会連合協議会
2020-2022 年度事務局長　徳永 理恵

事務局員退任のご挨拶

今年３月に下の子が保育園を卒園し、現在は２人の小学生の親として子育て奮闘中ですが、９年間の保育園生活も過ぎてみればあっという間で、入園して間もない頃の育児に悩みや不安しかなかった頃が非常に懐かしく感じられます。

保護者会活動を経験していく中で、負担を感じる時もありましたが、人とのつながりができて、みんなで何かを達成していく楽しさをたくさん経験させていただきました。保護者会の意義や大切さも次第に実感し、保育園生活の中で子どもだけでなく自分自身も成長させて頂いたかなと思います。

私自身は、下の子が年長の時から市保連事務局に関わらせていただきましたが、コロナ禍の長期化で人の繋がりが加速度的に希薄になり、不適切保育が社会問題となったりするなか、市保連での講演会や勉強会を通して保護者会の大切さを再確認することができました。これからも安心できる保育環境のために、微力ながらご協力できればと思います。

京都市保育園保護者会連合協議会
2022 年度事務局員　村上 美智子

エンジョイ保護者会活動 ～事務局員退任のご挨拶～

自園の保護者会長などを 5、6 年続け、その間から市保連にはお世話になりました。今は小学４年生と小学１年生の保護者です。保護者会活動と送り迎えがなくなり、職場と自宅の往復だけの味気ない日々を過ごしています。

他園との交流は大変参考になります。保護者会費の徴収（現金か振込か）、コロナ禍での行事運営、保護者の交流会の持ち方など、「これは良い」というものはすぐに真似ることもありました。良いものはどんどん吸収し合いましょう。

市保連では、保護者同士がつながり、交流することの重要さも学びました。保育実践を学び、保育に参加することで、子育てに役立つだけでなく、私自身も成長できたと思います。

また、保育士さんと本音で話し合い、配置基準改善や保育士の処遇改善などの取り組みにも参加しました。園のバザーで披露していた「署名呼びかけコント」に参加できなくなったのは寂しくて仕方ありません。

より良い保育をつくるために今後も尽力したいと思います。

京都市保育園保護者会連合協議会
2020-2022 年度事務局員　立花　亮

市保連総会・ミニ学習会に参加して

初めて市保連の集まりに参加しました。他の園の保護者さんたちと会って話ができたことが楽しかったです。一緒に行った２歳の息子はおにぎりと綿菓子とかくれんぼを楽しんだようです。

ミニ学習会で講演して下さった小山さんは、他の自治体の取り組みを紹介してくれました。目から鱗の連続でした。行政と地域が一体となって子育てしやすい環境づくりに成功している自治体がある一方で、京都市が魅力的な取り組みに乏しいことは明らかです。

「財政難」を理由に保育行政の予算を絞り、現場へ負担を強いる京都市に方針転換を促すべく、保護者同士がしっかりと繋がり、それぞれの園が根差す地域との関係を深めていくことが大切なのだと思います。

子どもたちが大好きな保育園は、地域の財産であり、それがなければ誰もが困ってしまうような社会の要石です。そんな保育園を未来に繋いでいくために知恵を出し合っていきましょう。

白い鳩保育園（北区）保護者

こんな学習会を開催しました。

保育園への京都市の補助金削減を受けて、わたしたちの保育園では７月、京都保育団体連絡会（京保連）会長の藤井伸生さんを講師にお迎えして勉強会を開催しました。

園長先生や保育士さんからも、補助金削減の影響や保育体制の厳しさなど現場の生々しいお話をしていただき、参加された保護者の方々とグループに分かれて意見交換もしました。

園の大変な状況をまだまだ知らない保護者の方も多かったので、保護者の立場として園の現状を知る機会は、とても大切だと思いました。

藤井伸生さんは「園の大変な状況を保護者へ共有することに対して後ろ向きな園も実際ある（共有することで保育園に対するマイナスイメージがつくため？）」とも言われていて、難しいなあと考えさせられています。

市保連に加盟されている園の保護者会で、今の保育情勢などについて勉強会を開催したいという園があれば、是非お声がけ下さいとも仰っていました。藤井さんが講師を担当してくださるとのことです。

たかつかさ保育園（北区）保護者

子どもたちにもう１人保育士を！賛同者＆アンケートにご協力ください

愛知県を中心に取り組まれていた保育士配置基準の改善を求める運動「子どもたちにもう１人保育士を！」が全国に広がり、「全国保護者実行委員会」を立ち上げました。京都の市保連からも役員数名が参加しています。

実行委員会では、現在、保育士配置基準の改善を求める取り組みへの賛同者の募集と、保育士配置基準に関する保護者アンケートを募集しています。８月３日現在の賛同者は 1559 人！保護者アンケートの回答は 1604 件です！「子どもたちにもう１人保育士を！」の声は確実に全国に広がっています。

保育士配置基準を大きく改善し、子どもたちによりよい保育を届けるためには、たくさんの保護者の声が必要です。ぜひ各園でご協力ください。

【賛同者 URL】
https://forms.gle/Jx1vqm3RWJCXm5ue6
【アンケート URL】
https://forms.gle/sbVUSX7cu3HYMLtA7

▼アンケートはこちらから▼
Google Form で回答できます
【URL】http://bit.ly/3WnWX6A

賛同申込はこちら

2023 年度市保連 LINE オープンチャット、稼働中！

定期的な〈保護者会活動交流会〉以外でも、市保連に集う保護者会役員の皆さんが、普段から各園・各保護者会の状況や保護者・保護者会の悩みごとなどを気さくに話し合ったり、情報交換したりできる場として、LINE 上に市保連オープンチャットを開設しています。オープンチャットはグループ LINE と同じように使えますが、途中で参加しても過去のトーク履歴を遡って読めるなど、より気楽に、幅広くコミュニケーションをとることができます。

参加資格は各保護者会の会長、副会長、または市保連を担当する役員の方々です。参加を希望される方は、市保連事務局へメール（info@shihoren.net）までご連絡ください。参加方法をご案内します。メールには、保育園名・役職・お名前を記載してください。たくさんの皆さんのご参加をお待ちしています！

2023 年度第１回市保連保護者学習会を開催します

テーマ：「不適切保育」を考える

「不適切保育」ってどういうもの？
保育に不安を感じたときに保護者や保護者会として
できることは？
ご一緒に考えてみませんか。

☑日時： 11 月 25 日（土）14 時～16 時
☑講師：藤井　豊さん
（弁護士、保育を考える全国弁護士ネットワーク）
☑場所：特別養護老人ホーム「都和のはな」
３階ホール
☑保育有り



〒604-8454　京都市中京区西ノ京小堀池町 3-4

●お仕事と子育てで大変お忙しい日々と思いますが、皆さまぜひご参加ください！●

★市保連メーリングリストご登録のお願い★

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では保護者・保護者会相互の交流や情報交換のため、メーリングリストを設けています。この機会にぜひご登録ください。

登録をご希望の方は、保育園名・お名前と、「メーリングリスト登録希望」と記入したメールを、info@shihoren.net（市保連事務局）宛にお送りください。

『市保連ニュース』のバックナンバーは、市保連ホームページで公開中です！